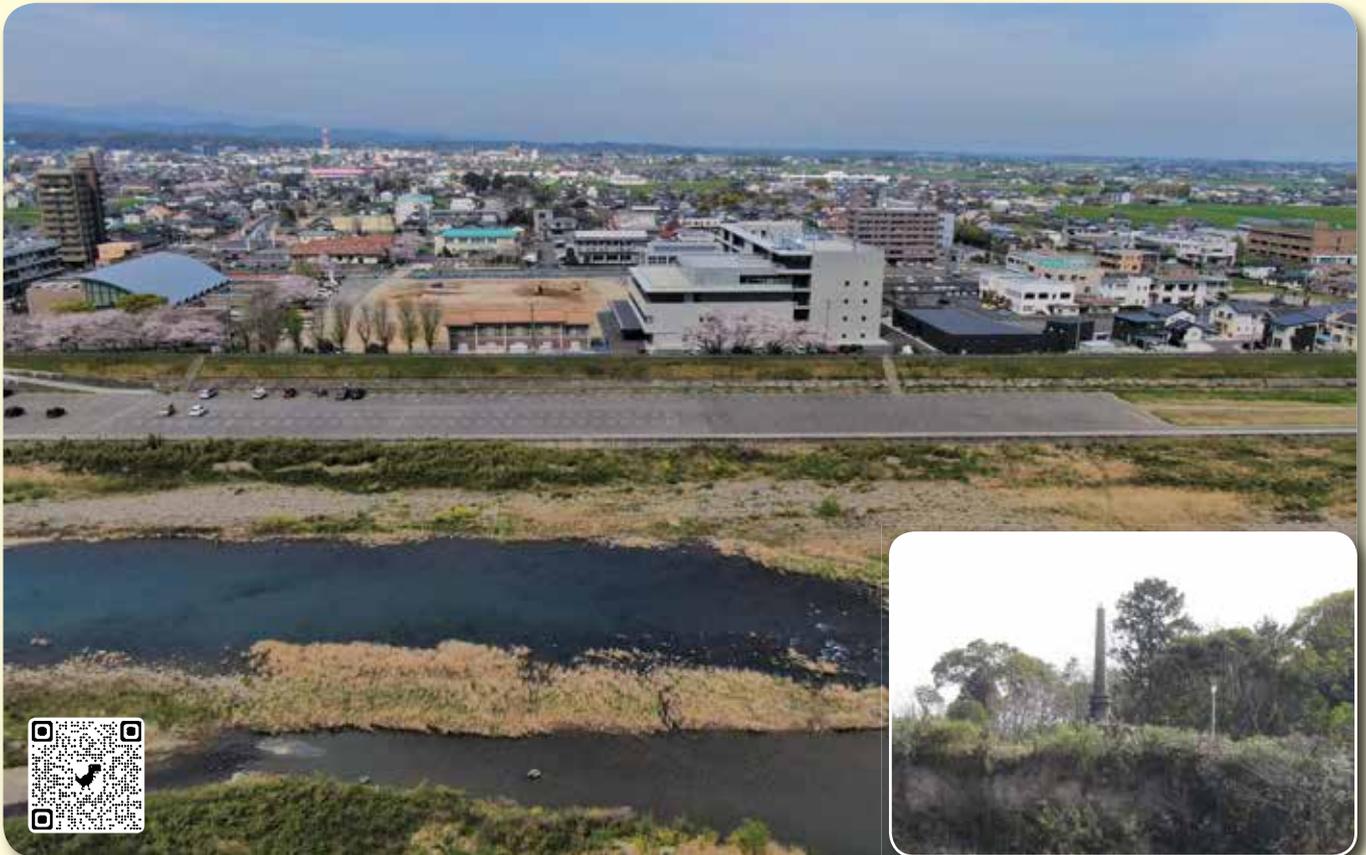


令和3年5月25日発行
発行/宇佐市議会
直通:0978-32-2328
Fax:0978-32-1437

宇佐市議会



(視点場・筆者撮影)

《議員一押しの写真》

鷹居地区公園からの眺望

宇佐市東上田地区にある鷹居地区公園（市役所の対岸側）は、昭和 57 年に都市公園となり、それ以降も整備をされながら親しまれています。約 4.1ha ある公園は、自然豊かで多くの木々に囲まれ四季折々の風景を楽しむスポットとなっていますが、高台にある視点場からは、木々が生い茂り、長年にわたり眺望を楽しむことができなくなっていました。

しかし、昨年度実施された森林環境税を活用したスポット再生事業により、眼下の駅館川、宇佐の中心地や山々などが一望でき、とても見晴らしの良い視点場に再生されました。

表紙の写真はドローンでの撮影ですが、これに近い風景を楽しむことができます。ぜひ訪れて、眺望や四季を楽しんでみてください。

3 月 定 例 会

○令和 3 年度一般会計当初予算を可決

スマホも対応!

議会ホームページ

宇佐市議会 検索 

《目次》	3月定例会の概要・委員会の審査結果・本会議の審議結果……………P.2~4
	3月定例会の一般質問……………P.5~11
	予算特別委員会・6月定例会予定ほか……………P.12



3月定例会の概要

～総額 289 億 6 千万円の
令和 3 年度一般会計当初予算
など 50 件を可決・同意～

令和 3 年 3 月第 2 回定例会が、2 月 16 日から 3 月 16 日まで 29 日間の会期で開かれました。

市長から提出された議案 50 件（令和 3 年度一般会計予算などの予算案 13 件、宇佐市手数料条例の一部改正など条例案 11 件、宇佐市監査委員の選任など人事案 23 件、物品供給契約の締結など 3 件）及び、議員提出議案 1 件（宇佐市議会会議規則の一部改正）が提出されました。

慎重に審議した結果、提案された議案を全て可決・同意しました。

〔人事案〕

監査委員 佐藤博美氏（院内町副）
人権擁護委員 香下淑子氏（院内町香下）
人権擁護委員 江藤カヨ子氏（安心院町矢畑）
人権擁護委員 小野昌俊氏（城井）

〔本会議第 1 日〕（2 / 16）

①議案等の上程及び説明②閉会中の継続審査となつている付託事件の報告（グリーンパークホテルうさに関する調査特別委員会）③予算特別委員会の設置・選任

〔本会議第 2 日〕（2 / 25）

①追加議案 2 件の上程及び説明②一般質問

〔本会議第 3 ～ 5 日〕（2 / 26 ～ 3 / 2）

①一般質問

〔本会議第 6 日〕（3 / 3）

①議案質疑②議案等の委員会付託

〔本会議第 7 日〕（3 / 16）

①各常任委員会・予算特別委員会の審査報告と質疑・討論・採決②追加議案 23 件（人事案）の上程と質疑・討論・採決③議員提出議案 1 件の上程と質疑・討論・採決

常任委員会の審査結果

総務常任委員会（3月9日審査）

番 号	件 名	結 果
議第 2 号	令和 2 年度宇佐市一般会計補正予算（第 1 1 号）	原案可決
議第 1 7 号	宇佐市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正について	〃
議第 2 2 号	宇佐市消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例の一部改正について	〃
議第 2 3 号	宇佐市火災予防条例の一部改正について	〃
議第 2 8 号	宇佐市国民健康保険条例及び宇佐市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の一部改正について	〃

文教福祉常任委員会（3月9日審査）

番 号	件 名	結 果
議第 2 号	令和 2 年度宇佐市一般会計補正予算（第 1 1 号）	原案可決
議第 3 号	令和 2 年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	〃
議第 4 号	令和 2 年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	〃
議第 5 号	令和 2 年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	〃
議第 9 号	令和 3 年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	〃
議第 1 0 号	令和 3 年度宇佐市介護保険特別会計予算	〃
議第 1 1 号	令和 3 年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議第 1 5 号	宇佐市立幼稚園条例の一部改正について（宇佐市立長洲幼稚園の廃園）	〃
議第 1 6 号	宇佐市立保育所設置条例の一部改正について（宇佐市立南院内保育園の廃園）	〃
議第 1 8 号	宇佐市介護保険条例の一部改正について	〃

議第24号	物品供給契約の締結について	原案可決
議第27号	令和2年度宇佐市一般会計補正予算（第12号）	〃
議第28号	宇佐市国民健康保険条例及び宇佐市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の一部改正について	〃

産業建設常任委員会 (3月10日審査)

番 号	件 名	結 果
議第2号	令和2年度宇佐市一般会計補正予算（第11号）	原案可決
議第6号	令和2年度宇佐市水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議第7号	令和2年度宇佐市下水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議第12号	令和3年度宇佐市水道事業会計予算	〃
議第13号	令和3年度宇佐市下水道事業会計予算	〃
議第14号	宇佐市手数料条例の一部改正について	〃
議第19号	宇佐市道路占用料徴収条例の一部改正について	〃
議第20号	宇佐市市営住宅条例の一部改正について	〃
議第21号	宇佐市公共賃貸住宅条例の一部改正について	〃
議第25号	工事請負契約の変更について	〃
議第26号	字の区域の変更について	〃

本会議の審議結果

○議 案（3月16日審議）

※印は全会一致でない議決

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第2号	令和2年度宇佐市一般会計補正予算（第11号）	各常任委員会	原案可決
議第3号	令和2年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	〃
議第4号	令和2年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃	〃
議第5号	令和2年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
議第6号	令和2年度宇佐市水道事業会計補正予算（第2号）	産業建設	〃
議第7号	令和2年度宇佐市下水道事業会計補正予算（第3号）	〃	〃
議第8号	令和3年度宇佐市一般会計予算	予算特別	〃 ※
議第9号	令和3年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	文教福祉	〃 ※
議第10号	令和3年度宇佐市介護保険特別会計予算	〃	〃 ※
議第11号	令和3年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃 ※
議第12号	令和3年度宇佐市水道事業会計予算	産業建設	〃
議第13号	令和3年度宇佐市下水道事業会計予算	〃	〃
議第14号	宇佐市手数料条例の一部改正について	〃	〃
議第15号	宇佐市立幼稚園条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第16号	宇佐市立保育所設置条例の一部改正について	〃	〃
議第17号	宇佐市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正について	総 務	〃
議第18号	宇佐市介護保険条例の一部改正について	文教福祉	〃 ※
議第19号	宇佐市道路占用料徴収条例の一部改正について	産業建設	〃
議第20号	宇佐市市営住宅条例の一部改正について	〃	〃
議第21号	宇佐市公共賃貸住宅条例の一部改正について	〃	〃
議第22号	宇佐市消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例の一部改正について	総 務	〃

議第23号	宇佐市火災予防条例の一部改正について	総務	原案可決
議第24号	物品供給契約の締結について	文教福祉	〃
議第25号	工事請負契約の変更について	産業建設	〃
議第26号	字の区域の変更について	〃	〃
議第27号	令和2年度宇佐市一般会計補正予算(第12号)	文教福祉	〃
議第28号	宇佐市国民健康保険条例及び宇佐市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の一部改正について	総務 文教福祉	〃
議第29号	宇佐市監査委員の選任について	付託省略	原案同意
議第30号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃
議第31号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃
議第32号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃
議第33号	宇佐市農業委員会委員の任命について(永岡卓巳氏)	〃	〃
議第34号	宇佐市農業委員会委員の任命について(久保公志郎氏)	〃	〃
議第35号	宇佐市農業委員会委員の任命について(久保田昭廣氏)	〃	〃
議第36号	宇佐市農業委員会委員の任命について(安藤宝太氏)	〃	〃
議第37号	宇佐市農業委員会委員の任命について(永松徳章氏)	〃	〃
議第38号	宇佐市農業委員会委員の任命について(安倍隆司氏)	〃	〃
議第39号	宇佐市農業委員会委員の任命について(安部正博氏)	〃	〃
議第40号	宇佐市農業委員会委員の任命について(萩原久邦氏)	〃	〃
議第41号	宇佐市農業委員会委員の任命について(塚崎正和氏)	〃	〃
議第42号	宇佐市農業委員会委員の任命について(西時行氏)	〃	〃
議第43号	宇佐市農業委員会委員の任命について(川谷正一氏)	〃	〃
議第44号	宇佐市農業委員会委員の任命について(赤坂州男氏)	〃	〃
議第45号	宇佐市農業委員会委員の任命について(丹生猛氏)	〃	〃
議第46号	宇佐市農業委員会委員の任命について(安部伸雄氏)	〃	〃
議第47号	宇佐市農業委員会委員の任命について(菅原維範氏)	〃	〃
議第48号	宇佐市農業委員会委員の任命について(阿部善浩氏)	〃	〃
議第49号	宇佐市農業委員会委員の任命について(佐藤俊徳氏)	〃	〃
議第50号	宇佐市農業委員会委員の任命について(池田雅彦氏)	〃	〃
議第51号	宇佐市農業委員会委員の任命について(河野一雄氏)	〃	〃

○議員提出議案

提出者	内 容	付託委員会	結 果
議員提出議案第1号	宇佐市議会会議規則の一部改正について (請願者に対し、提出時に求めている押印を署名又は記名押印に改める)	付託省略	原案可決

※全会一致でなかった議案の採決結果

議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	若山雅敏	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野陸夫	後藤竜也	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林 寛	大隈尚人	高橋宜宏	中村明美	永松 郁	浜永義機	衛藤博幸	
議第8号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし
議第9号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第10号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第11号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第18号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	

原案に賛成：○ 原案に反対：×

継続した支援を



多田羅純一 (市民れんごう)

問① 市内飲食業支援について飲食店より、収入がほとんど無く、来月の家賃が払えない等の切実な意見を聞いた。継続していくための家賃や、固定費等の支援はできないか。

答 客足が遠のき、苦しい経営が続いている状況に加え、一番の繁忙期であるはずの時期において、宴会の自粛や緊急事態宣言の発令が追い打ちをかけ、危機的な状況にあると認識している。現在、1月臨時議会で承認された「小規模事業者元氣アップ事業」の申請受付を開始し、今議会に「テナント事業者家賃補助事業」を繰り越す補正予算を提案している。今後、引き続き家賃補助ができないか、業種・期間等をもう少し精査を行い、検討していく。

問② 子ども医療費について、高校生まで助成を拡大することで、子育て世代への継続した支援になると思うが市の考えは。

答 トータルでの支援を行うことが大事であり、高校生まで子ども医療助成を拡大できるような検討していく。

問③ EV充電器設置拡大について、ここ数年市内のEV急速充電器は増えていないと思うが今後の設置拡大へ向けた取り組みは。

答 新庁舎外構工事において急速充電器1基を設置する予定であり、商業施設や道の駅等の充電設備の整備については、一般社団法人次世代自動車振興センターによる補助金制度がある中で、今後の設置拡大に向けた活用が図られるよう周知していく。

問④ 飼い主のいない猫について、一部の地域で飼い主のいない猫が増えていると聞く。個体を減らす取り組みが必要と考えるが市の取り組み状況は。

答 現在、県では「おおいさくら猫プロジェクト」という取り組みを実施しており、市に登録した団体が県に申請し、認められた場合は飼い主のいない猫について県が不妊・去勢手術を行う。

市政一般に対する質問

「地域」と「暮らし」を守る



辛島光司 (光りの会)

問① 新型コロナウイルスについて。

(1) 市内の企業が開発した簡易検査キットの有効性は。

答 陽性一致率74%、陰性一致率100%と精度の高い製品となっている。

(2) 観光・飲食業の現状と支援策は。

答 今議会において、「テナント事業者家賃補助事業」の繰り越しを提案している。今後についても、国や県の補助事業も合わせ、市として最大限の支援を行う。

(3) コロナ後の宇佐市の方向性をどのように見据えているのか。

答 当面は、コロナ禍を乗り越えることに力を注ぎながらも、今後を見据え、人口減少対策・経済雇用対策・多文化共生施策などに取り組むほか、地球温暖

化や国土強靱化などの重点課題に対し、積極的に事業展開を行う。

問② JR柳ヶ浦駅改修工事について。

(1) 子どもが安全に電車を見て楽しめる場所やスペースは作る予定なのか。

答 待合室のホーム側の壁を大きな窓に変更し、カウンターを設置する。また、駅前広場西側には、フェンス越しに電車の往来を望めるスペースを整備する。

(2) 高齢者や乳幼児が濡れないで乗降できる対策は。

答 車寄せに雨除けシエルトを設置することで、濡れずに乗降できるように整備する。

(3) 渋滞解消の対応策は。

答 駅前広場を約2倍に拡張し、公共交通と一般車を分離、十分な駐車スペースを確保することで、混雑の解消を図る。

(4) 駅前のソテツの取扱いは。

答 株分けを行い、駅前広場と宇佐海軍航空隊ゆかりの地に、それぞれ植樹を行う。

文化団体に支援の手を



河野睦夫 (政友会)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① コロナ禍で活動できない文化団体への支援を。

(1) 院内童龍太鼓の現状について代表者から状況の聞き取りをして状況を把握しているか。

答 代表者からは聞き取りしていないが、厳しい状況であることは把握している。

(2) こういう大変な状況であるのに、何故、きちんと代表から話を聞きしっかりと状況把握しないのか。そんなことで何の支援ができるのか。

答 代表者からきちんと聞き取りするべきであった。

(3) 今後もし先行きが見えず演奏する子供たちや保護者、指導者も困惑している。本年度も様々なイベントが中止となり活動財源が確保できない状況であり、このままでは存続の危機である。市独自で支援できないか。

答 国の補助事業や市の「文化継承補助金」を活用していただきたい。

(4) 国のコロナ関連の支援金にも該当しない、危機的状況にある時だからこそ、市として手を差し伸べるべきではないか。

答 現状ある補助金を活用していただきたい。

問② 市内飲食店への支援について。

(1) 市内飲食店の現状は。

答 飲食業界にとって一番の繁忙期であるはずの時期において、宴会の自粛や緊急事態宣言の発令等、コロナ禍の終息が見通せない現状において危機的な状況にあると認識している。

(2) しっかりと感染対策に取り組んでいる飲食店に対し、継続的に固定費の補助ができないか。

答 「小規模事業者元氣アップ事業」最大30万円の給付を行っている。さらに「テナント事業者家賃補助事業」を継続している。今後にも必要な支援を行っていく。

(3) 料飲組合はコロナの感染が終息した際には、組合でイベントも企画しているようなので、是非、支援してほしい。

答 その際は支援したい。

農業関係や県自転車条例等について



若山雅敏 (市民れんごう)

問① 農業関係について。

(1) 農業者の大型特殊免許取得は、自動車学校での取得費用が高額で市内には対応する学校がない状況である。取得の機会拡大に向けて対策ができないか。

答 これまで県立の農業大学校での農耕車限定免許取得の講習回数を増やし対応してきた。今後、希望者増が見込まれるため取得機会の拡大について県に働きかけ連携していく。

(2) ジャンボタニシの被害防止対策の具体的な取り組みは。

答 令和3年度から、主食用米に対し登録薬剤購入費の4分の1、または10アール当たり700円の一部助成を行う。

問② 県自転車の安全で適正な利用促進に関する条例について。

(1) 市の取り組み内容は。

答 自転車保険の加入が義務化

されること等、県条例について関係団体や企業等とも協力し、HPや広報等で市民に広く周知していき、ヘルメット着用など大人からの意識を高めていく。

(2) 自転車を利用しやすい道路整備が必要だが、対応状況は。

答 市・県等で計画し進めているが、未整備の箇所もあり、今後も自転車・歩行者が安全で通行しやすい道路整備に努める。

問③ 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の計画や対応体制はどう考えているのか。また、交通弱者への対応策は。

答 現在、各医療機関等と連携したワクチン接種専門委員会を設置し、個別・集団の接種体制やワクチンの配送など検討事項を整理し協議を行っており、担当課にワクチン班を編成し他課とも連携しながら対応していく。集団接種は医師会からの派遣も含めた体制を調整中である。また、市民の相談窓口として相談センターを設置し対応する。交通手段のない高齢者等には、タクシー費用の助成を行う。

※その他の質問

- ・ パワハラ防止法施行に対する市の取り組み状況は。
- ・ 新庁舎改善の取り組みは。

住宅リフォーム助成で経済の活性化を



今石靖代（日本共産党）

問① 建設業関係の支援を。

(1) 広く一般住宅を対象とした「住宅リフォーム助成」を全国の3分の1の自治体が実施。新型コロナウイルスで疲弊している地域経済の活性化のために助成を。

答 政策目的をもったリフォームに関する各種事業に積極的に取り組んでいる。

(2) 気仙沼市では、市内業者が施行する30万円以上のリフォームに一律で10万円を補助し、500万円の予算で50件の仕事を作っている。企業誘致に1億円以上の予算を組むのだから、地元業者への支援を。

答 どんな対策がとれるか検討してみたい。

問② 学校給食の無償化を。

(1) 子どもたちは、学校給食から食べ物の知識を学び、食の大切さや、会話する中で人間関係

を築き、生きる土台を学ぶ。まさに食育であり、義務教育では無償化すべきだが。

答 学校給食法では設置者は給食が実施されるよう努めなければならぬとされ、当市では食料費を保護者負担としている。

(2) 臨時交付金を使い、日田市が8カ月、豊後大野市が、5カ月など6市町が、無償化を実施しているが、宇佐市はどうか。

答 就学援助の周知に努めた。

問③ 国保事業において、新型コロナウイルスで対応したように、加入者全員に保険証の即時交付を。

答 感染症の状況により適宜判断したい。

問④ 21年度より、激甚の小規模災害で、地元負担を農地が2割、水路など施設が1割に引き下げられる。40万円以上の大型事業も負担軽減を。豊後高田市は激甚の施設復旧は負担なし。

答 復旧による機能回復で利益もあり応分の負担を考えている。

問⑤ 新型コロナウイルスが減少の今こそ、検査の拡充を。また、重症化リスクの高い高齢者施設には定期的なPCR検査を。

答 簡易抗原キッドを施設や学校に配布して、早期の予防を図ってきたい。

住みよいまちづくりについて



吉田泰秀（求道会）

問① 新型コロナウイルス感染症の影響について。

(1) 宇佐市企業の経済状況は。様々な業種において大きな影響が出ている。今後とも足もとの経済状況を注視しながら、必要な対策を講じていく。

(2) 宇佐市商工会議所や宇佐両院商工会と協力してアンケート調査を行うなどしてはどうか。

答 今月から宇佐商工会議所や宇佐両院商工会において、時間外の相談窓口を開設している。

(3) 料飲組合の要望書の内容に関して早急の対応ができないか。

答 今後も国・県の飲食店等への支援策に注視し、必要な支援を行っていく。

(4) 感染症対策が徹底しているお店を宇佐広報や市のホームページで周知してはどうか。

答 感染症対策済みの店舗等の

周知については、入り口に貼っているステッカーやホームページを見て、安心して利用していただきたい。

問② 交通安全について。

(1) 小学校の交通安全授業はどのように行われているか。

答 体験的に学ぶ「交通安全教室」を開催している。

(2) 長洲小学校に交通安全公園があるが、再度整備して利用してはどうか。

答 学校の要望や他の活用方法があれば協議していく。

(3) 長洲小学校前の歩道橋は老朽化が目立つが、現在の状況は。

答 令和3年度に定期点検を行い、その調査結果を踏まえ補修等を行い安全対策に努める。

(4) 旧式の信号機からLED使用の信号機に取り替えるよう働きかけてはどうか。

答 県警察本部に取り替えの促進を要望していく。

※その他の質問

- ・公衆トイレの管理の状況。
- ・野良猫の対策法について。
- ・学校給食に関して。

コロナ対策・交通政策



衛藤義弘 (公明党)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご覧下さい。

問① 新型コロナ対策について。
 (1) 市内でクラスターが発生すれば感染者が増加するが、病床の確保はできているのか。
答 4床を30床に拡大した。
 (2) 自宅等で亡くなっている人がいると聞く。療養する人が血中の酸素飽和度を測る「パルスオキシメーター」を確保しては。
答 県によると、十分な準備ができていっていると聞いている。
 (3) ワクチン接種の人員確保・情報発信・寝たきりや障がい者の対応はどうなっているのか。
答 接種体制については、各医療機関の医師らによる専門委員会を設置し、協議を進めている。また広報、ホームページ等で情報発信をしていく。障がい者等には、かかりつけ医や施設の嘱託医を基本に接種する方向で検討している。

(4) 救急隊員の優先接種を考えるとおくべきでは。
答 医療従事者と同じく優先的に接種するよう県が調整する。
 (5) 集団接種会場に救急車と救急隊員の配備は。
答 病院の救急車を常時配備しておく。
問② コロナ禍での生活保護の実態について。
 (1) 経済疲弊により就労者が職を失ったが、生活保護の現状は。
答 令和2年4月から1月までの間に、44世帯減少している。
 (2) 厚労大臣が扶養照会を「弾力的に運用できるようにする」と答弁。現状はどうか。
答 申請者と20年間音信不通の場合は照会しない。国の通知に基づき適切に対応する。
問③ 自治体でのドローンの活用について。
答 平成28年度に導入して以来、観光PR用動画の作成や災害による被害状況等の確認などの分野で活用している。新たに1機導入し、救助救出、被災後の資料作成等に役立てたい。
問④ 交通弱者を救うため、タクシー利用券等検討すべきでは。
答 持続可能な公共交通体系の運行に取り組む。

未来に向けた変化と対応を



和氣伸哉 (求道会)

問① 生産年齢人口の減少を背景に、少ない人員で変わらぬ住民サービスを提供できる、スマート自治体の実現の施策は。
答 「市ICT化推進ビジョン」を策定し、AIチャットボット等の関連費用を含む「デジタル市役所推進事業」を令和3年度の当初予算に計上している。
問② 大分県の国東半島宇佐地域が世界農業遺産に登録されているが、今までどんな取り組みを行い活性化へ繋がっているのか。
答 県とともに情報発信や保全活動、次世代継承教育事業等に取り組んでおり、定期的な交流事業により関係人口が徐々に増加する結果にも繋がっている。
問③ 総務省は、地域おこしななどに携わった経験のある人の移住を支援する新制度を始めるが積極的に検討してみては。

答 地域おこし協力隊制度をはじめ、国の支援制度、他市の事例や動向を注視し、これらを効果的に活用し、雇用の場の創出や地域の活性化、住民福祉の向上に努める。
問④ 本市の人口動態統計で新型コロナウイルスの影響を受けているか。
答 平成31年1月から令和元年12月の間が出生353件、死亡815件、婚姻202件、離婚83件、令和2年1月から12月の間が出生310件、死亡841件、婚姻147件、離婚98件となっており、コロナの影響は考えにくい。
問⑤ 本市において人口に占める60歳以上の割合と就労状況は。
答 2月1日現在の人口が54,781人で、うち60歳以上が23,649人、割合として47%となっている。また、ハローワーク宇佐の資料によると、管内65歳以上の再就職の件数は平成30年度で142件、令和元年度で164件、令和2年度は12月現在で115件となっている。今後も法改正の周知に努めるとともに地域雇用創造協議会と連携し、企業訪問による情報収集の上、求人側と求職側のマッチングを図っていく。

院内 I C に北九州方面乗降口を



河野健治朗（政友会）

問① 院内インターチェンジ上下線の乗降口の整備を求める声が大きくなり、特に上り線乗り口については、交通の利便性向上はもちろんだが、以前より課題となっている国道387号線院内町白岩付近での事故渋滞時や災害時の迂回路としても必要な計画と思う。この機会に、市としてパーキングエリアの新設を含むインターチェンジの改良やスマートインターチェンジの導入など、なんらかの要望を計画しているか。

答 院内インターチェンジのハーフィンター解消については、これまでも関係機関への要望を行い、当時は地形的条件等の理由から設置は困難との回答があったが、この度の4車線化の事業決定等の状況の変化により、再度、必要性や重要性を訴え、事業化の可能性調査の実施について働きかけを行っている。

問② 旧西部中学校跡地は敷地も広大で立地も良いことから、企業誘致や宅地開発など他の利用方法を検討するべきだと思いが、今後の計画はあるか。

答 現状では、災害時等に市が有効活用できる用地としたい。

問③ 飲食店が感染拡大の最大の原因のような報道によって、ここ宇佐市においても外食産業が疲弊しているのが現状。特に年末年始の宴会自粛により、期待される収入が得られず事業継続が限界にきている中、飲食店の固定費の補助に特化した緊急助成金の創出ができないか。

答 小規模事業者元氣アップ事業の申請受付を開始し、併せておおい味力食うぼん券の利用を促すとともに、宇佐ん店食べ歩きスタンプラリーを実施することで、感染予防対策に取り組みながら頑張っている飲食店を応援している。さらには、テナント事業者家賃補助事業を繰り越す補正予算を提案し、今後も国・県の飲食店への支援策に注視しながら、必要な支援を行っていく。

宇佐八幡駐車場の料金引き下げを



中本 毅（令和新政会）

問① (株)宇佐八幡駐車場について、利益や内部留保の状況は。内部留保が潤沢にあるのであれば、有効活用を検討しては。

答 (株)宇佐八幡駐車場の令和元年度事業報告書によると、当期純利益は約八九一万円。内部留保について(株)宇佐八幡駐車場にお聞きしたところ、設備投資等に活用できるものは、普通預金など約五、八〇〇万円である。

設備投資等に活用できる預金については、今後、料金精算機の更新など駐車場の整備費用が発生した場合や、新型コロナウイルスや災害などの不測の事態による収入減に備えているものもあり、今年度も大幅な減収となる見込みである。今後の状況が見えない中、企業としての内部留保も当然必要であると伺っている。

議員提案の有効活用については、引き続き役員会等において協議していききたいとの回答を得ている。

問② 市内飲食店の事業継続への具体的方針は。

答 1月25日、宇佐市料飲店組合の関係者が来庁し、コロナ禍における市内飲食店の現状と支援についての要望書が提出され、廃業を余儀なくされた店舗も出始めているなど、飲食業界の切実な現状をお聞かせいただいた。市としては、「小規模事業者元氣アップ事業」の申請受付を開始し、売上が減少している事業者へ最大30万円の給付を行なっているところである。「おおい味力食うぼん券」の利用を促すとともに、「宇佐ん店食べ歩きスタンプラリー」を実施することで、感染予防対策に取り組みながら頑張っている飲食店等を応援している。

さらには、今議会に「テナント事業者家賃補助事業」を繰り越す補正予算を提案している。今後、国・県の飲食店等への支援策に注視しながら、必要な支援を行っていききたい。

市民に寄り添った市政を



後藤 竜也 (政友会)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 平和ミュージアム建設について、12月議会の答弁で、収支は計算していないが建設すると明言されたが、今後の方針は。

答 平和ミュージアム資料館は平和ミュージアム構想の実現に向けて、基幹となるものであり、後世に正確な史実を伝えていくためにも重要な施設として必要であると考えている。

問② 豊川小学校校舎について、過去の答弁で、プレハブで対応し、増築は考えていないと明言されているが、今後の方針は。

答 校舎は築37年が経過し、老朽化しており、校舎や階段の狭さ、トイレや手洗い場の不足などのほか、敷地も手狭で不便な状況にあると認識している。良好な教育環境を確保する必要があると考えており、増築等の検討を進めているところである。

問③ ふるさと納税について、経緯と今後の取り組みは。

答 今までは県内下位であったが、平成30年8月にふるさと納税推進委員会を立ち上げ、関係課連携の下で推進している。今後、寄付者のニーズに沿った返礼品や専用サイトでの掲載の見直し、SNSの活用を含めた発信など、単年度目標を立てて取り組んでいく。

問④ コロナ禍により業績の悪化した事業者の経費を補助する議案が臨時議会にて提案、可決されたが、対象とされなかった1次産業等に対する支援は考えていないのか。

答 現在、農業での問合せや相談はなく、林業は回復傾向にある。漁業では組合員を対象に支援金の給付を行っており影響は少ないと思われる。今後、関係機関と連携し、情報収集に努める。

問⑤ 10号線沿いに予定されている道の駅について、集客及び売上のシミュレーションについて。

答 1日あたりの集客数を2,975人、予想売上額は、客単価1,250円で、立寄り客の3割が物品を購入する見込み。年間4億円と設定している。

会計年度任用職員の待遇改善を求めて



赤野道和 (日本共産党)

問① 学校現場で働くパートタイム会計年度任用職員の待遇改善を求めて。

(1) 今年度の学校主事、学校司書、学校主事兼教育補助、複式授業改善・多人数学級・習熟度別学習指導などの臨時講師は、定数に対して十分に配置されているのか。

答 予定された数に足りていないのは、多人数学級支援教員が定数7名中4名、習熟度別学習支援教員が7名中6名である。

(2) 教員免許を更新するために、10年に1回、自費で講習費や交通費などを負担している。報酬の引き上げをするべきではないか。

答 報酬は、正規職員の基本給を基に算出されている。

(3) 現状の「月に17日勤務」という勤務形態を、「年間204日勤務」を基本にして、授業の多い月・授業の少ない月で勤務日数を変えて、学校現場・子どもたちが助かるような弾力的な運用ができないものか。

答 月の報酬に著しく差異が生じ安定した収入が確保できなくなる事が懸念されるので現行の17日勤務としている。

(4) 年次有給休暇の単位は、1日または半日ではなく、学校現場に支障がなければ1時間単位でも取れるようにすべきではないか。

答 時間単位での取得については、今後他市の状況も踏まえ調査研究したい。

(5) インフルエンザなどの学校伝染病にかかった場合、有給の病気休暇を取れるように改善すべきではないか。

答 病気休暇に関しては、無給の特別休暇としている。

(6) 全体を通してどう考えるか。

答 会計年度任用職員をめぐる課題や問題点が指摘された。市長部局では月17日勤務で困っていないが、教育委員会部局では課題がある。教育委員会に、よく話を聞いていきたい。インフルエンザについては、職専免の方向で相談していきたい。

「日勤務」を基本にして、授業の多い月・授業の少ない月で勤務日数を変えて、学校現場・子どもたちが助かるような弾力的な運用ができないものか。

答 月の報酬に著しく差異が生じ安定した収入が確保できなくなる事が懸念されるので現行の17日勤務としている。

(4) 年次有給休暇の単位は、1日または半日ではなく、学校現場に支障がなければ1時間単位でも取れるようにすべきではないか。

答 時間単位での取得については、今後他市の状況も踏まえ調査研究したい。

(5) インフルエンザなどの学校伝染病にかかった場合、有給の病気休暇を取れるように改善すべきではないか。

答 病気休暇に関しては、無給の特別休暇としている。

(6) 全体を通してどう考えるか。

答 会計年度任用職員をめぐる課題や問題点が指摘された。市長部局では月17日勤務で困っていないが、教育委員会部局では課題がある。教育委員会に、よく話を聞いていきたい。インフルエンザについては、職専免の方向で相談していきたい。

誰もが安心して暮らせるために



川谷光紹 (求道会)

問① 地域のために。

(1) 令和3年度の新型コロナウイルスの予防接種の費用は、全額国費負担である。今後、インフルエンザの予防接種のように、毎年必要になると言われている。所得による命の選択が行われないうちに、全国市長会を通して接種費用の国費負担の継続について要望すべきでは。

答 全国市長会では、緊急要望を複数回、国に対して行っている。ワクチン接種の経費や、自治体と医療機関等の円滑な連携のための財政措置、必要な情報提供や、国民への周知、広域的な体制整備を求めている。

(2) 市の中心部に住む方々も、公共交通機関が少なく、買い物や通院で困っている。市民の需要や要望に応じた公共交通を、どのように検討しているのか。

答 専門の担当係を新設し、調査研究してきた。予約制の巡回ルート型や、タクシー補助形式など多様な事例がある。市では、まちづくり協議会との協働で、実証運行を早期実施したい。

(3) 市は人口が減少する一方で、世帯数は増え続けている。し尿処理を行う環境衛生センターの課題は。

答 自然環境への配慮のため合併浄化槽への転換が進み、浄化槽汚泥が増加し処理が困難な状況になってきているため、し尿や浄化槽汚泥の受け入れを制限している。現在建設中の公共下水道最終処理場と連携し、効率的な運営を計画したい。

問② 子どもたちのために。

(1) 将来の宇佐市の人口維持のためには、市内の高校の存続と活性化が重要である。市内の高校に通う生徒に対して、通学の補助をすべきでは。

答 路線バスの維持のためにも、通学定期券の補助や部活等にも対応した時間帯のバス運行をしたい。

※その他の質問

- ・料飲店への支援策について。
- ・介護保険事業計画について。
- ・放課後児童支援員について。

幽霊消防団員の実態は?!



高橋宜宏 (至誠会)

問① 宇佐市消防団について。

(1) 消防団員は非常勤特別職の地方公務員。ところが消防活動をしていないのに報酬や手当を受ける「幽霊消防団員」が各地で発覚している実態がある。こうした実態を把握しているか。

答 災害や訓練等に出動していない団員については幽霊消防団員と認定するのは難しい。今後、消防団の幹部会議等で積極的に参加するよう要請する。何年も活動実態のない団員が確認された場合は、各分団長等を通じ、精査していくことも必要。

(2) 団長以下の報酬は。

答 年額で、団長13万9千円、副団長8万4千円、分団長6万2千円、副分団長3万8千円、部長3万円、班長2万9千円、団員2万1千5百円。

(3) ここ3年間で1年以上活動

履歴のない団員は何人か。
答 平成29年度214人、平成30年度218人、令和元年度126人。

(4) 毎年全体の約2割前後幽霊消防団員がいる。因みに1年以上活動履歴のない団員に3年間で支払っている報酬の総額は。

答 約1千2百万円。

(5) 少なくとも金額だが、どう使われたか調査をしたことは。

答 使途調査はしていない。来年度から個人口座へ振り込む。

(6) M新聞の全国調査では、一部の分団で飲み食いに使ったり、不明な使われ方もあるようだ。使途の内容は把握しているのか。

答 今後、実態調査を行いたい。

(7) 同新聞の調査では約4割の自治体が分団や分団長へ報酬等を振り込んでいた。現在、市はどこに振り込んでいるのか。

答 一部の幹部団員を除き、各分団の口座へ一括振り込みしている。

(8) 個人に振り込んでほしいと要望する団員は多い。今後、真の幽霊団員の実態調査、それに基づいての是正改善を。また会計管理と報告も指導してほしい。
答 そのような形で行ってほしい。

特別委員会を設置・選任されました

予算特別委員会 議長を除く全議員 22名
(令和3年度一般会計予算の審査を行います)

委員長 辛島 光司
副委員長 和氣 伸哉

令和3年度当初予算を 予算特別委員会で審査

2月17日、3月4日、5日の3日間にわたり、議長を除く22名の議員で審査しました。

辛島光司委員長の議事進行により、総額289億6千万円の当初予算を、部署ごとに所管する予算の内容について詳細説明を受けた後、会派ごとに決められた持ち時間で質疑を行いました。今年4月に市長の改選期を迎えることから骨格予算として編成しているとの説明がありました。討論では「全体的には、市民サービスの維持向上に努力し、健全財政を維持していることは認めるが、膨大な税金を使って推し進めているマイナンバー関連予算については、いまだ必要性より個人情報漏洩やカードの紛失や盗難を心配する市民がほとんどであり、国民の監視やプライバシー侵害の危険がある観点から、マイナン



バー関連予算については「反対」といった反対討論や「骨格予算では、義務的経費や継続経費を基本とし、優先順位を決め短期的、長期的事業の道筋を付け、市の当面する諸課題に着実に対応するよう財源が配分されており賛成。しかし、本市の財政は将来負担比率や義務的経費が増加傾向であり、今後の財政運営は厳しい状況にある。積極的な行政運営と健全な財政維持の両立に努めるとともに、着実に実行し、より一層の経費の削減に努め、市民ニーズを的確に把握し、市民に情報を公開しながら、各施策を推進していくようお願いする」といった賛成討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

産業建設常任委員会

現地調査報告

去る3月10日に、街なみ環境整備事業(宇佐地区)の現地調査を行いました。

同事業は、平成25年度から令和2年度までの8年間、総事業費17億円をかけて、「宇佐神宮」の周辺整備として、勅使街道を中心に、道路美化や無電柱化、散策路の整備などを行っています。

委員からは、無電柱化のメリットやデメリット、事業の効果などの質



問がありました。地域のご協力のもと、歴史と緑が調和した景観に生まれ変わった街に、この先も多くの観光客が訪れ、地域が発展していくことを願います。

森林・林業活性化促進議員連盟による最後の植樹を行いました

平成17年の合併以降、宇佐市森林・林業活性化促進議員連盟を設立し、宇佐市内の緑化育成促進と地域の自然環境保護のために、毎年植樹を行ってきました。平成31年に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、これからは市民の皆様方と森林の持つ水源としての役割や、防災機能の向上に取り組むこととなり、議員連盟の役割を終えました。

最後の植樹地として、四日市の響山公園にある小菊の池周辺を選定し、3月7日に四日市門前町まちづくり推進協議会と協力し、コロナで中止になった四日市ひなまつりに参加予定だった子どもたちと一緒に河津桜を植樹しました。宇佐に育つ子どもたちが、樹々のように健やかに成長することを願っています。



編集後記



今年のは桜の開花が例年より早く、春の日差しが心地よく感じるこの時期、花見や卒業式、入学式、入社式、歓送迎会等のイベントがコロナ禍の影響で残念ながら自粛、延期や短縮、規模縮小などが続いています。こうした中、感染拡大の広がりが、変異株も危惧されるところですが、市内のワクチン接種も進みつつあり、更なる感染予防に繋がると感じています。今後も市民の皆様にはマスク着用・手指消毒等の感染防止対策にご協力をお願いします。議会の傍聴も感染防止のためできませんが、コロナ禍が終息し、市民の皆様が以前のように傍聴できる日が早く来ることを願っています。最後になりますが次回から議会活性化特別委員会は再編成となり、新しいメンバーでの編集となります。今後におきましても、皆さんの意見を取り入れ、議会や議員の活動を更に身近に感じてもらえる広報誌として、市民の皆様がわかりやすい編集をしてまいりますので、これからもよろしくお願いたします。(多田羅純二)

《6月定例会の予定》

- 6/1 (開会日) 提案理由の説明
- 6/10~15 一般質問
- 6/16 議案質疑
- 6/17 常任委員会の審査 (文教福祉・産業建設)
- 6/18 常任委員会の審査 (総務)
- 6/24 (閉会日) 委員会の審査報告 質疑、討論、採決

※新型コロナウイルス感染症に伴い入場の制限がある場合があります。